

登録コード	TSY04500	開講年度	2026					
授業科目	建築心理学					担当教員	柳瀬 亮太	
英文授業名	Architectural Psychology					副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2時限		対象学生	建築学分野1年生
講義室	工W2-601教室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ							
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					【研究科共通】学際的知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ							
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					【専攻】学際的知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力		
(2)授業の概要	人間の環境に関する学際的な理解を深めるために、建築学および環境心理学（都市・人間の空間・研究手法）に関係する比較的新しい文献を教材とする。文献に関わるレクチャーと輪読の反復を通じて、海外における学際的な研究事例を学ぶ。							
(3)授業計画	第01回 ガイダンス 第02～04回 環境心理学 第05～07回 都市空間 第08～10回 建築空間 第11～13回 人間の空間 第14～15回 まとめ							
(4)成績評価の方法	講義における発言および提出課題の内容に基づいて総合的に達成度を評価します。基本的に90-100点を秀、80-89点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。なお、評価を受けるためには講義日数の3分の2以上の出席を必要とします。							
(5)成績評価の基準	合格水準に達するには、基本的な専門用語や概念を理解し、それらを説明する際にどのような用語や概念を用いることが適当か判断できることが求められる。また、レジュメ作成にあたって、他者に伝えることが意図しているか、内容を簡潔にまとめているか、不明な点を明確にできているかなど、基本的な手続きをクリアできている度合いに応じて評価する。							
(6)事前事後学習の内容	必要に応じて、参考資料を案内します。							
(7)履修上の注意	受講に先立って、心理学に関わる基礎知識を習得しておくことが望まれます。							
(8)質問、相談への対応	講義中もしくは前後の時間、時間外はTeamsにて受付ける。							
(9)その他								
【教科書】	課題に応じて随時用意します。							
【参考書】	Environmental Interaction D.Canter Environment and Cognition W.Ittelson Environmental Evaluation E.H.Zube The image of the city K.Lynch Man in Urban Environments G.A.Harrixon and J.B.Gibson							